

平成27年度 第2回生涯学習センター運営審議会 会議録

- 1 開催日時 平成27年10月30日（金） 9時30分～11時30分
- 2 開催場所 人材かがやきセンター 5階研修室
- 3 出席委員 16名
丸山委員長，大矢副委員長，竹内委員，伊藤委員，岩戸委員，大金委員，増淵委員，石塚委員，高岡委員，荻原委員，小林委員，長谷川委員，塩田委員，羽石委員，宇賀神委員，斎藤委員
- 4 会議の公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 0名
- 6 内 容
 - ・ 報告事項
 - (1) 平成28年宇都宮市成人式について
 - (2) 平成27年度生涯学習センター文化祭について
 - (3) 宇都宮市民大学（前期）の実施状況について
 - (4) 人材かがやきセンター主催講座（前期）の実施状況について
 - ・ 協議事項
 - (1) 平成28年度生涯学習センター事業運営の考え方（案）について

7 発言の要旨

丸山委員長	まず 3議事（1）報告事項 ①平成28年宇都宮市成人式について，事務局から説明をお願いします。
事務局	【資料について説明】
丸山委員長	ただ今の説明について，ご意見・ご質問がありましたらお願いします。
岩戸委員	若松原中学校区なのですが，会場が非常に混むという状況です。勝手に変更はできないと思いますが，交通の便のよいところ，たとえば地区近くの宇都宮グランドホテルを会場にすることはできないのでしょうか。そうすれば出席もしやすいと思うのですが。
事務局	地域と会場を近いところというご意見も確かにあるのですが，市内のホテル等で200～300名入れる部屋というのが限られているという現状があります。そのため会場の広さと推定出席者数などを考慮し調整をしているところですが，会場の設定

については今後も検討をしてきたいと考えております。ただ、会場の収容人数なども限られていることから、ご理解いただければと思います。よろしくお願いいたします。

丸山委員長 過去の議事録を見ましても、同じようなことについて意見が出ておまして、会場の調整については苦心されているようです。他に何かご意見はございますか。

大金委員 成人式については協力し、盛り上げていきたいと考えているところですが、西生涯学習センターからは7月、北生涯学習センターからは9月と人員の協力要請の時期にズレがあるという状況です。バランスのとれた人員の協力をとるためにも、同じ時期に協力の要請をしていただくよう改善をお願いします。

事務局 ご迷惑をおかけし申し訳ありません。頂いたご意見を担当者ミーティングや所長会議の場で報告し、スムーズな運営に努めて参ります。

丸山委員長 他に意見がないようですので、次の報告事項②平成27年度生涯学習センター文化祭について、事務局より説明をお願いします。

事務局 【資料について説明】

【各センター所長による説明】

丸山委員長 ただ今の説明について、ご意見・ご質問がありましたらお願いします。

伊藤委員 この資料を見ると各文化祭の概要しかわからないという印象を受けます。今、各センター所長の話の中で、前年度の出展団体数や作品数、またこれから開催する所長からは目標とする数値についての話が出ました。これからはPlan（計画）・Do（実行）・Check（評価）・Action（改善）の中でもCheckが大事だと思いますので、目標・計画・結果を数値で示すことは必要ではないかと考えます。昨年度と比較し、出展作品数が増えたというように、結果も見えやすいのではないのでしょうか。

高岡委員 伊藤委員の話にも出ました、「PDCA」のうち、Check（評価）はとても大切だと思います。これまで実行委員の方・来場者の方にアンケートをとったことがあるセンターがあればお伺いできますでしょうか。その結果によって、翌年のAction（改善）につなげるきっかけになればいいのかなと思います。もしアンケートをとったことがないセンターがあれば、毎年とは言わず、数年に一度アンケートを実施し文化祭の運営について見直しのきっかけにするとよいのではと思います。

丸山委員長 ご出席のセンター所長のみなさん、いかがでしょうか。

姿川生涯学習センター	姿川生涯学習センターでは文化祭の際、来場者にアンケートを実施しております。その結果については文化祭後の反省会の席で委員の方と共有し、次年度の運営に活かしています。
北生涯学習センター	北生涯学習センターでは、今年度初めて来場者アンケートと出展団体アンケートを実施しました。来場者アンケートについては188の回答を、出展団体アンケートは38団体から回答を得ました。本日開催する文化祭実行委員会でその回答についても話し合われることになっております。
中央生涯学習センター	中央生涯学習センターでも参加サークルや無料喫茶コーナーにいらした方にご協力をお願いし、アンケートを実施しています。現在集計中で、次回の実行委員会でその結果をお示しする予定でおります。
丸山委員長	その他に文化祭について何かご意見ご質問ありましたらお願いします。
宇賀神委員	いつも来られない世代に生涯学習センターのPRをする良いきっかけになるので、文化祭はとても重要な行事だと思います。特定の人たちのものだけではない、「生涯学習センターってこういうこともしているのか」という発見のきっかけになり、活動の裾野が広がるのではないかと考えております。
岩戸委員	個人的には文化祭のマネリ化を感じております。「若者向けの事業はないのか」という声を聞くことがあり、本日この席でお話しようと考えておりました。ぜひ若者が参加できるような事業を工夫していただければと思います。 また、作品を出展する方の年齢層などわかればお伺いしたいのですが。
東生涯学習センター	東生涯学習センターでは、作品展示をされる方は大体60歳以上の方が多くという印象をうけます。ステージ部門については、今年度新しく1団体が加わったところです。
岩戸委員	中学校の美術部に出品を依頼するというのも手ではないかと思えます。ぜひご検討ください。
丸山委員長	他にご質問などなければ、次にうつります。報告事項③「宇都宮市民大学(前期)の実施状況について」と報告事項④「人材かがやきセンター主催講座(前期)の実施状況について」は関連の強いものになりますので、事務局から一括で説明をお願いします。
事務局	【資料について説明】

丸山委員長

ただ今の説明について、ご意見・ご質問があればお願いします。資料を拝見しますと、市民大学も人材かがやきセンターの主催講座もよく考えられたものであることがよくわかります。

それでは特にご意見がなければ、次に進みます。(2) 協議事項①「平成28年度生涯学習センター事業運営の考え方(案)について」事務局から説明をお願いします。

事務局

【資料について説明】

丸山委員長

ただ今の説明について、ご意見・ご質問がありましたらお願いします。

岩戸委員

お示しいただいた「事業運営の考え方」について、非常にいいことが書いてあると思うのですが、これをどのように市民に周知徹底していくのでしょうか。連合会の会長などに対し勉強会などを通して周知していくのでしょうか。

事務局

この「事業運営の考え方」は市民に学びを提供する生涯学習センターとしての考え方になります。当然、人づくりとまちづくりは一体だというところではありますが、まちづくりとしての市民活動センター、地区市民センターの運営の考え方とは性質の異なるものになります。生涯学習センターとしては、センターの生涯学習事業を通して、あるいは職員を通して可能な範囲で事業運営の考え方をご理解いただけるように取り組んで参ります。

岩戸委員

この議事とは少し離れますが、やはり18センター所長、副所長でもよいですからこういう場に出てきていただき、生の声を聞いてもらいたいと思います。そうしたほうがこの事業運営の考え方についても周知できるようになるのではないのでしょうか。

事務局

センターの事業運営の考え方をどのように展開・周知していくかということについては、少しお時間をいただきながら検討していきたいと思います。ご意見ありがとうございます。

羽石委員

資料5-1(3)重点的に取り組む事業の中の、「エ 地域社会を支える人材育成と学習成果の活用と促進」という項目の中で、「学んだ人材が学習成果や経験を活かせるような活動機会と場の提供」とありますが、評価指標をみると人材の育成にとどまっているように見えます。「活動機会と場の提供」の部分を評価していくことで、よりよい事業になるかと思いますので、ご検討いただきますようお願いいたします。

事務局

学んだ人が運営側に回る講座企画・運営ボランティアスタッフ(Vスタッフ)による主催講座や地域人材マッチング機能についても現在運用の準備を整えていると

ころであり、こうした事業等の実績から評価をしていきたいと考えています。評価指標については計画的な見直しを検討してまいります。

伊藤委員

評価指標について質問ですが、各項目で「事業の充実」と表記するからには、事業を充実するためにこれだけの事業を行なうという具体的な目標を示すのが評価指標ではないでしょうか。どういう講座をいくつやるように示し、それをどのくらい達成できたかが先ほどから話に出ている、Check（評価）にあたるように思うのですが。それに加えて、重点項目エにある「講座企画・運営ボランティアスタッフをはじめとする学んだ人材が学習成果や経験を活かせるような活動機会と場の提供」について、講座運営企画の参加率のようなものもぜひ知る機会を得たいと考えています。

事務局

ご質問いただいている評価指標について、目標値のようなものは表記しておりませんが、基本的には平成26年度の評価がベースになります。予算の兼ね合いもあるため最低でも現状維持、特に下線部で記した点については増加を目指していくものと考えております。わかりにくい表現になってしまい、申し訳ありません。また講座運営企画の参加率等については、Vスタッフの連絡会議の際などを通して、具体的な数字を示していきます。Vスタッフの企画運営講座に関しては、今年度と比較して来年度のほうが明らかに増加する見込みではあります。

竹内委員

これまでの議論を聞いていて、成果を数字で表すのは非常に大切だと思うと同時に数値で見えない部分を明文化していくのも大切だと感じたところです。それに関していくつか発言させていただきます。

まず、事業運営のポイントに記載がある「市民大学」について、開催時期が少し遅いのではないかと感じています。新しいことを始めようとする意欲が芽生えるのは新年度を迎えた頃と思いますので、そういう時期と開催のタイミングを合わせられないかご検討いただきたいと思います。

次に市街地のコミュニティセンターには子どもの家が併設されています。特に午前中の子どもの家の活用、乳幼児をもつ母親への学習機会の提供の状況についてわかればお話いただきたいと思います。

3つ目にエにある「地域社会を支える人材育成」について、退職した方を対象にボランティアを養成するのも必要ですが、現役の社会人・公務員に対し働いているうちに退職後のあり方について考えるキャリア教育をするのも大切ではないかと考えます。

最後に、「人材かがやきセンター」、「市民大学」は生涯学習センターの事業ではないと思うのですが、このセンター事業運営の考え方に記載があったものですから、再度確認させてください。

事務局

ご質問にありました子どもの家は、10時から正午まで、地域の親子に対して開放している施設です。参加者数は場所によってまちまちであるというのが現状です。

活動例としましては、生涯学習課で養成している家庭教育サポーターのボランティアがハロウィンなどのイベントを行なっています。事業内容が子育てサロンと重なっていますが、サロンが専門の保育士が高度な学びの場を提供し多くの人数が集まる一方で、子どもの家は大勢の人の集まりが苦手な人たちの受け皿にもなっている、意義のある事業だと考えます。

また、人材かがやきセンターの事業と市民大学の講座は本課の事業であって生涯学習センターの事業ではないのではないか、というご質問についてはその通りです。報告事項として表記させていただいていることをご理解いただければと思います。

就労世代に対しての退職後を見据えた生涯学習事業の展開、あるいは市民の学習意欲を捉えた事業の実施時期に対するご意見については、今後の事業運営の参考にさせていただきたいと思えます。ご意見ありがとうございます。

丸山委員長 ありがとうございます。お時間も迫って参りましたが、他に何かご意見・ご質問はありますか。

岩戸委員 「街の先生」という制度は今も残っているのでしょうか。

事務局 「街の先生」については学校教育課が担当しており、制度は今も残っております。

宇賀神委員 10月7日に開催された公民館長等研修会に参加された方に、午後の分科会についてどのような内容であったかご発言いただければと思うのですが。

丸山委員長 出席された方で午後の分科会の様子についてご発言いただける方、いらっしゃいますか。

高岡委員 公民館が地域とどう協力して活動してきたかという4人1組でワーキングを行いました。特に意見のとりまとめはしていませんが、参加者の皆さんから地域における公民館のあり方について発言がありました。

増淵委員 これからのあり方と課題について話し合いをしましたが、やはり今後は今働いているお母さんが子育てしながら公民館に足を運んで何かを発見できるなど、若い人たちが集まるような事業を考えていければよいという感想をもちました。

竹内委員 先ほど事務局から、人材かがやきセンターや市民大学の事業は、生涯学習センター事業運営とは異なるという話がありましたが、その性格からするとやはり生涯学習事業なのだと思います。センターでの事業とは別ということではなく、どこかのセクションで一括して行なうと統一性がとれてよいのではないかと考えています。事業そのものをどう捉えていけばよいのか考えていただければありがたいな、と要望としてお伝えします。

事務局 ご意見ありがとうございます。資料5別紙資料でセンター事業，人材かがやきセンター事業，市民大学の領域のイメージについては図示してあるとおりですが，今後もわかりやすい事業運営について進めていきたいと思ひます。

大矢副委員長 先ほどから数値目標ということが議論にあがっていますが，数値目標というのはなかなか難しいものであると経験から実感しております。数値目標をあげることでもかなり苦しくなることも見込まれます。ただ運営審議会の中ではそれを提示するのもよいのではないかと、今後そういう点についても議論を続けていければいいのではないかと考えます。

丸山委員長 ありがとうございます。それ以外にご意見はございませんか。ないようですので、協議事項①平成28年度生涯学習センター事業運営の考え方（案）についてご了承ただけたということによろしいでしょうか。

 以上をもちまして、本日、予定しました議事はすべて終了いたしました。委員の皆さまには、円滑な会議の進行にご協力いただきまして、ありがとうございます。それでは、進行を事務局に戻します。

事務局 それでは次第4その他ですが、局から事務連絡がございますので、事務局お願いします。

事務局 **【配布資料について説明】**
【次回の会議日程について説明】

事務局 皆様、大変ありがとうございました。本日は、委員長を始め委員の皆様、長時間にわたるご審議誠にありがとうございました。以上をもちまして、平成27年度第2回生涯学習センター運営審議会を閉会いたします。